



44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群（五姓田芳流画）



44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群（磐梯山噴火ノ關連圖カ）



44.生巧館 (博文館『ロビンソンクルーソー絶島漂流記』明27ノ挿繪)



44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群



44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群



44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群



44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群



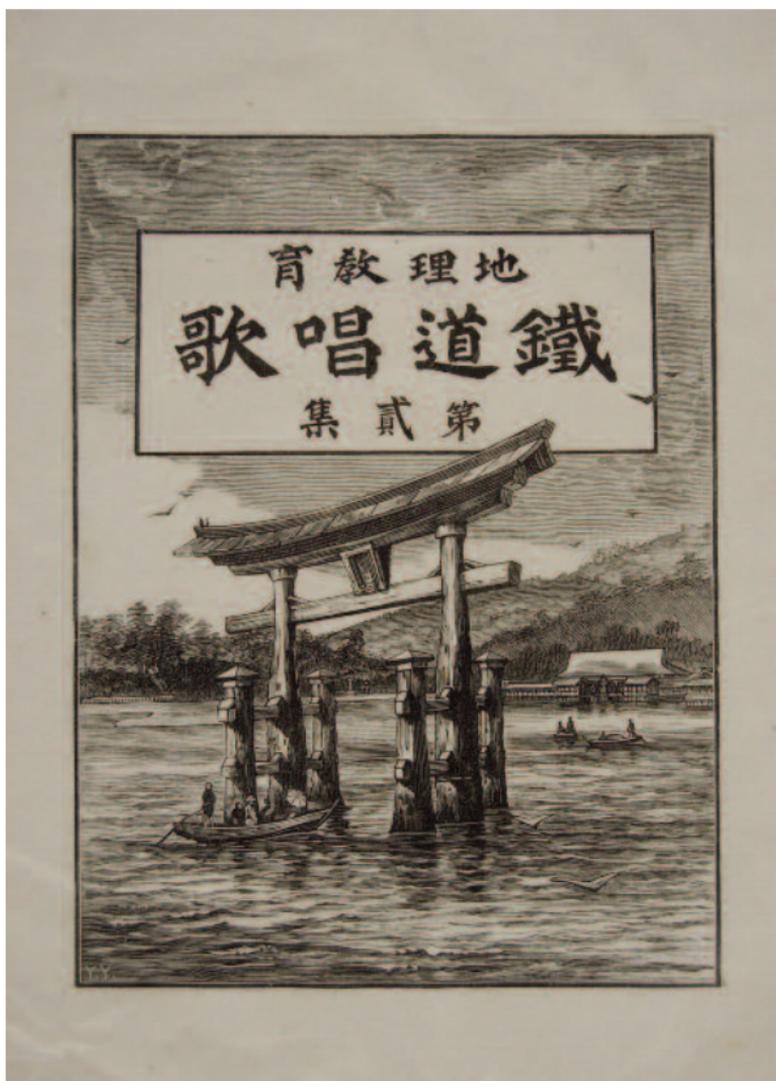
44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群



44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群



44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群



44.生巧館木版彫刻部小口木版作品群

韃靼人



韃靼ハ本名韃而韃ト云ハ而ノ字ヲ畧シ其國東如黑白ノ二種有テ居ル韃是ノ
多國卷四十八道ニ相分テ大國ナリ古ノ胡國ト云或ハ蒙古ト云テ皆此國
ノ別稱ナリ南界ハ唐土ニ又接シ北方ハ氷海ニ近ク大界國ニテ四季
夜ノ長短大ニ地方ト司シテヤル所ヨリ最モ富饒國ナリト云國人
弓馬ヲ好勇強ク風俗ナリ北極地ヲ出テ事四十二度ヨリ六十四度ニ至
テ南北經ノ東西ヨリ長シ

45. 世界人物圖卷

朝鮮人



朝鮮ハ古ノ三韓ニシテ馬韓辰韓辨韓ノ地ナリ中古新羅百濟
高麗ト分テ末代合テ朝鮮ト稱ス國ハ道有テ寒國ナリ京
畿道ハ北極地ヲ出ル事三十八度釜山海ハ三十六度



45.世界人物圖卷

馬加撒爾人



馬加撒爾ハ呂宋ノ南ニアタル島國ニテ大抵一國ナリ人物
賤シ南北ノ南極星ヲ見テ事獲門答剌國ニ同シ

暹羅人



暹羅ハ南天竺聲羯陀國ノナリ唐土ヨリ西南ニ當ル
熱國ニテ東藩寨ト同額ノ國ナリ最モ佛法ヲ尊敬ス
東藩寨ハ暹羅ヨリ暑強ク人物甚賤ト北極地ニ出ル
暹羅ハ十四度東藩寨ハ十二度

45.世界人物圖卷

ムス
モラコイフ
莫斯哥承亞人



莫斯哥承亞ハ歐羅巴ノ忬阿蘭陀東ニラトル大國ナリ寒國
ニテ異類ノ獸類多キ水エナリ石火夫ハ此國ヲ根本トス此邊ノ諸
國悉ラ北極地ヲ出ル幸五十度或ハ六十度ノアイスナリ



以西把尼亞人

以西把尼亞ハ歐羅巴ノ内大國ナリ
四季有テニテ尤邪法ノ國ナリ

45.世界人物圖卷

イ
ッ
リ
ヤ
意
大
里
亞
人



意
大
里
亞
ハ
以
西
地
居
ル
東
南
ニ
歐
羅
巴
各
テ
大
國
ナ
リ
四
季
ク
ワ
リ
ト
ム
イ
タ
リ
ヤ
ノ
都
ヲ
羅
馬
ト
イ
フ
一
國
ナ
リ
イ
ツ
レ
モ
邦
法
ノ
國
ナ
リ

45.世界人物圖卷

齊爾瑪尼亞人



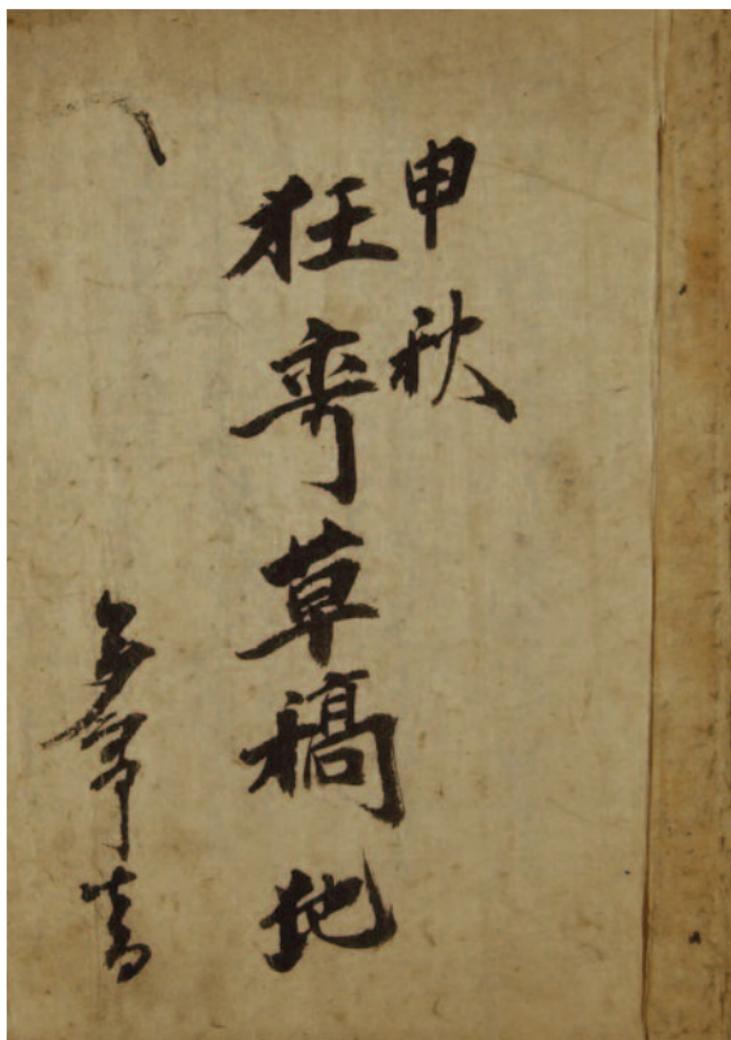
齊爾瑪尼亞ハ阿爾陀國並ニ國ニテ寒國ノ大國ナリ
人物風俗ヲラシク人ニ相類ス



45.世界人物圖卷



35. 竜金舎明宗狂歌及俳諧資料



35. 竜金舎明宗狂歌及俳諧資料

八百、 羨想ハ上様城おハ下様城
 四百、 淫望あてたまふ左車後寄
 百、 為らる種ハ八相逆 倍

是れいさうとありてすあつめをよみてんふしとをり
 ありいさうとある世ハは他より
 音、 音子 深草鏡下をなふさ出
 日、 日 夜めとるを知り、一村 春雄
 日、 日 夜ア乃はもとめよつた死 松辨
 音、 音 花曉かほもまき、花北の中 長治
 音、 音 水天 水天 新あへるく秀はう信りてむ 貞盒
 音、 音 合用天下 毒草とまらさハ睡さあはく 魚一

25.那舞登屋羅集附録（春々庵鳳原編）

山中

大江

改虫鹿 小槻

資全

勤之丞
淡路守
室永空王
御隨身

資禮

勤之丞
右近將監
美齊
玄蕃後助
玄蕃助

元拂筭家勤仕

寶永四年三月廿八日 儲君様ニ召出使番 四名 八人持持

同五年十月廿五日 春宮様執次加替

同六年六月十五日 御讓位後 禁中執次

同月十八日 十石三八ツキ

同八年八月二日 死 五十七歳

寶永八年七月廿四日 子共役並、通

同九年九月廿五日 相續 十石 三八ツキ

享保十二年八月廿五日 親王様御膳番

同廿年三月廿一日 御受禪ニリ 禁中ニ被 召連 御膳番
無役料

延享四年三月廿八日 櫻町御所附

寬延三年八月廿一日 喜高院ニリ 歸

寶曆六年五月廿二日 御番内免 卅五日 死

四八 新訂草木圖説 草部 (大垣/飯沼慾齋翁著)

(十八) サクラサウ

(櫻草科)

山間濕地ノ地ニ生ズ。吾邦柳津ノ蘆場亦多ク自生ス。人家栽ラフノ花ヲ稱シ子生
ノ花色葉狀ノ變スルヲ不可算。春宿根苗ヲ生シ一柄一葉葉長三四寸巾二寸許水
クリコミ邊縁懸テ大刻缺各刻更ニ三五ノ鋸齒アリ。質柔軟柄ハ葉ヨリハ長葉芽
ト共ニ微毛アリ。數葉一窠ヲナレ葉間莖ヲ抽テ五六寸。頂ニ有梗數花ヲ繼發ス。其花
肥大
ナヤハ性々層ヲ重テテクリン 花筒據五裂瓣本細ク末大ニ頂ニ一小缺凹ヲナシ
サウノ如クニ至ルヲアリ。 花筒據五裂瓣本細ク末大ニ頂ニ一小缺凹ヲナシ
テ略櫻花ノ瓣尖ノ如ク。又喉頭ニ瓣狀點記。點記
狀起ト同カラスアリ。色淡紫ヲ常ナス。
其他紅白濃淡雜取。又瓣ノ大小剪域等種々アルヲ不暇枚舉。今タゞ似類異種ノ數
品ヲ下ニ列舉ス。此類皆實礎柯子狀ニメ一柱雄蕊五莖共ニ喉間ニアリ。按クリン
サウ亦同屬ニ可收シテ。其殊標ハ本體ハ葉本クリン。邊縁缺刻鋸齒アリ。柄并葉
茸毛茸アリ。クリンサウハ草莖大ニノ葉ニ大缺刻ナク毛茸ナク花層ツナク
第五種
フリムラ。コルトソイデス。 種 ケカフデ。アリムラ。 種 春氏所定

(18) SAKURA-SŌ
PRIMULA CORTUSOIDES L.
(PRIMULACEAE)



四八 新訂草木圖説 草部 (大垣/飯沼慾齋翁著)

(三十一) ナモミ

絲葎

(菊科)

原野ニ生シ春實生シ方莖高三四尺ニ及ブ。枝葉兩對葉圓夫ニメ柄ニ流シテ鋸齒アリ。形等麻葉ニ似テ薄軟ニモ毛茸アリ。葉腋枝ヲ出シ花ヲツク。萼狭長ヒ楯ニメ五片。邊花綠色缺筒ニメ三裂。中心、完筒五裂。兩莢常葉ニメ共ニ黃色。子室楕圓ニメ暗紫色。ツノ外邊萼ノ如キ一片ヲ以テ被フ。外面萼ト共ニ粘滑ノモアリ。附一缺筒ニ完筒子花 三全花共郭大筒

第一種

Hamamelis

virginiana

Fraxinus

excelsior

菊





46. 銅版萬國輿地方圖



66.和蘭語唐韻假字

匙勺、叉刀、盃、^以碧玉、酒、^購茵蔯、更薦香腸、火、^購鞍、尋、^購羞、冰、乳
 涼糕、至若、和氣、生春、歡心、向夜、簫鼓、琴、笛、之、音、鳴、於
 層臺、歌、^{天、皇、行、幸、之、儀}于、嗎、之、響、徹、於、邃、榭、折、楊、皇、^{天、皇、行、幸、之、儀}琴、之、曲、徒、餘
 夢、思、下、里、巴、人、之、調、那、何、夸、說、興、趣、方、正、^{亦、可}酣、妙、^{亦、可}翩、躚
 與、俱、舞、踏、^{亦、可}爰、以、遣、乎、世、情、寧、敢、拘、於、時、^{亦、可}好、亂、曰、玉、燭
 兮、常、耀、金、甌、兮、久、堅、都、京、兮、雖、兩、旬、服、兮、齊、然、脩、銷
 兮、節、愛、秉、鈞、兮、行、權、奕、葉、兮、玄、冑、萬、歲、兮、億、年、

闕批

阿波

高銳一

高

47.高銳一自筆譯稿及稿本資料

以下便陳帝
 室制度
 以下便陳帝
 室制度
 東京賦 明治三十年所作
 嘻我皇朝延曆甲戌西京作奠居之地明治戊辰東
 京為遷幸之都帝紀寶祚遙遙綿綿稟判令古天意
 民心眷眷翼翼自致嚮趨乃亦非歟猷遠大規制陳
 敷賢相輔之蓋臣謨之而安得文獻秀發庶黎歡呼
 哉以是其溝封也東南臨海西北隔山林野闢草茅
 剛形域恢豁托栖穩便市廛接比家口莖蕃五穀百
 貨雜聚列行牙儉相分金土同價物生釋艱築城鑿
 濠道灌遺計無盡撥亂反正家康積恩永全其治教
 也據懷柔基憲典存窮苦於洪仁戒獄刑於暴殄憤

47.高銳一自筆譯稿及稿本資料

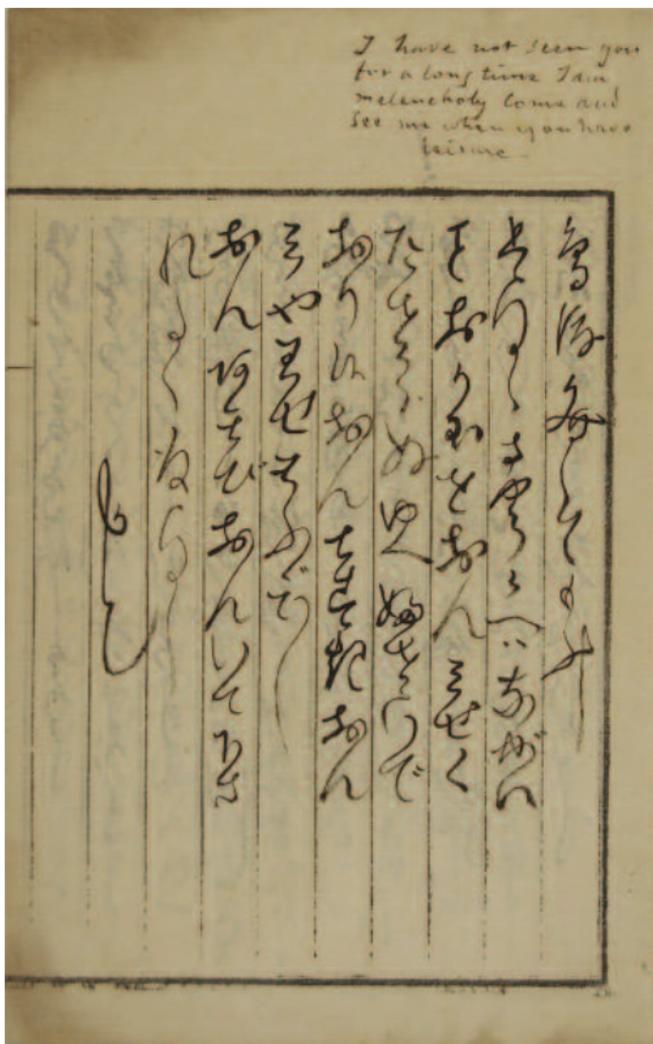
丁	レ	因	ヲ	ヲ	ノ	數			
歐	氏	テ	盡	ナ	健	年			
洲	近	此	セ	ス	安	間	報		
各	時	預	ハ	丁	ヲ	衆	事		
國	ニ	備	現	切	謀	民			
ノ	至	無	ニ	要	ル	ノ			
都	ル	ル	凶	ニ	為	一			
府	迄	ヘ	害	シ	天	同			
ニ	官	カ	ヲ	テ	空	ニ			
於	ニ	ラ	防	嬉	開	企			
ル	在	サ	キ	游	潤	夕			
カ	テ	ル	疾	過	ノ	ル			
如	ハ	ノ	苦	度	處	本			
ク	此	旨	ヲ	耽	ニ	意	高		
ナ	預	ヲ	除	ス	在	ハ	銳		
ラ	備	重	ク	以	テ	各	新		
ス	ヲ	シ	ヤ	テ	行	省	譯		
故	重	タ	大	テ	步	府			
ニ	ス	リ	ナ	歡	運	居			
紐	ル	然	リ	樂	動	民			

米國總督閣下報告
(明治七年八月十三日譯成)

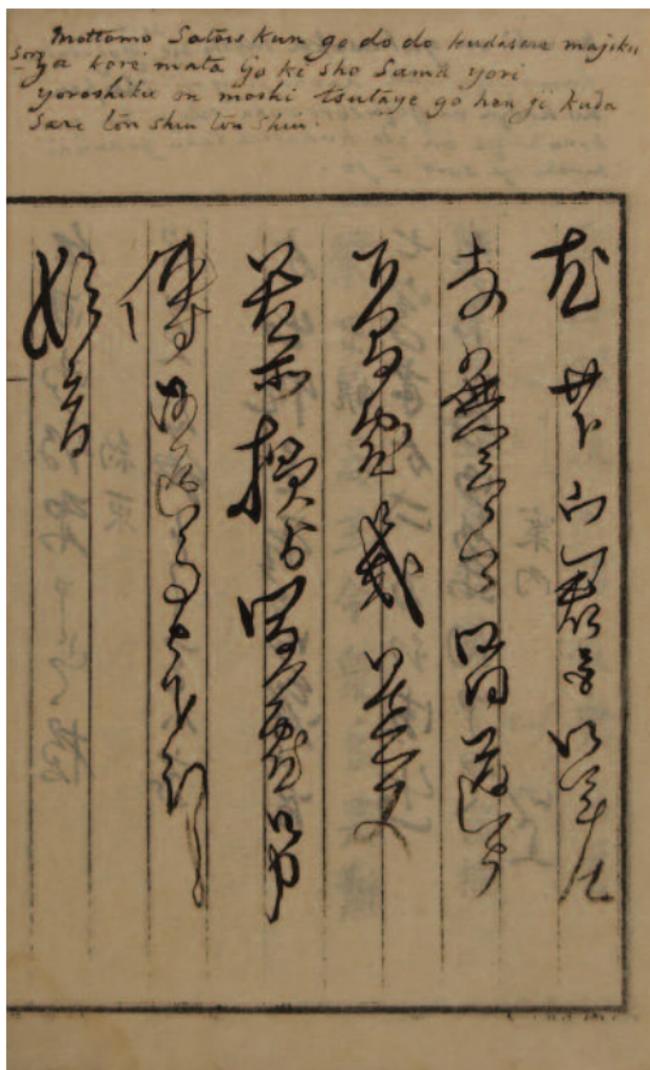
高銳新譯

高

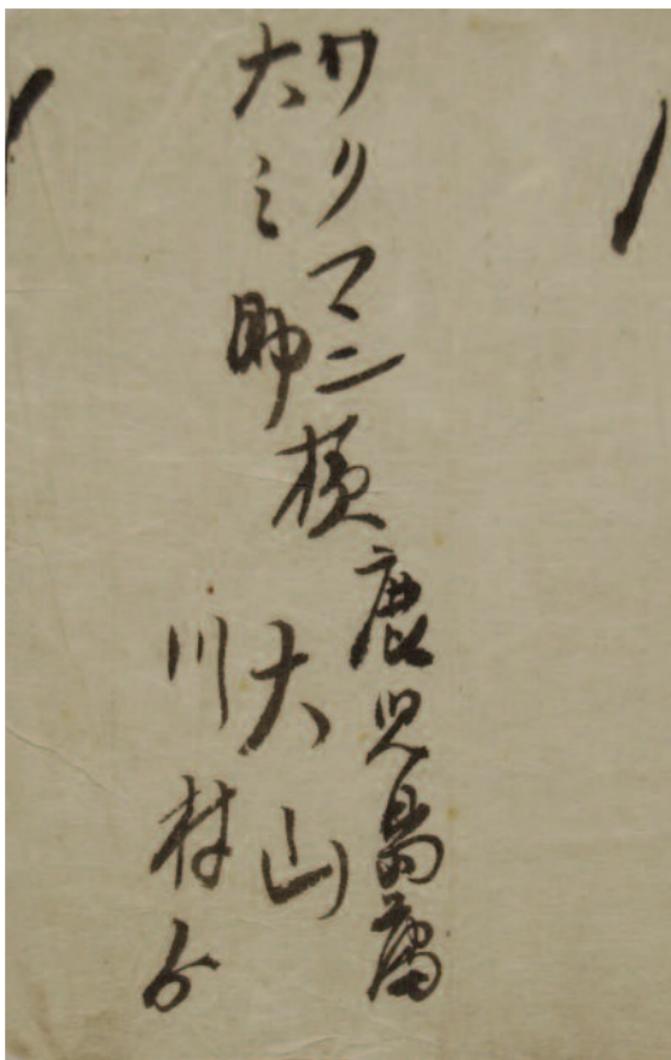
47.高銳一自筆譯稿及稿本資料



67. 英國人外交官ニヨル日本語學習帖



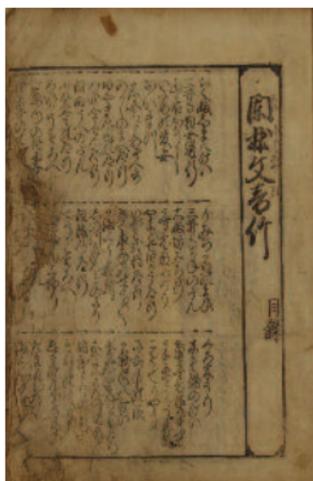
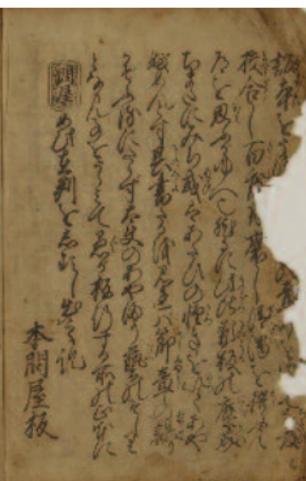
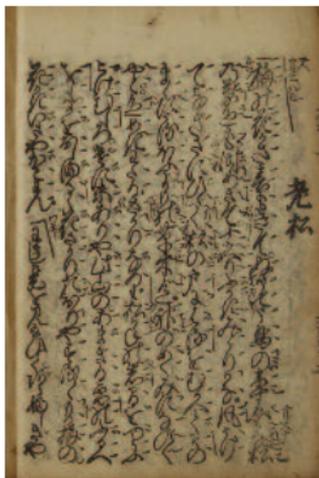
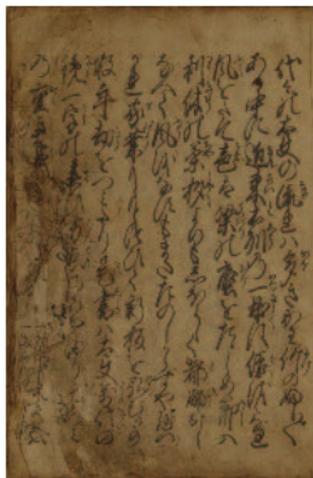
67. 英國人外交官ニヨル日本語學習帖



67.英國人外交官ニヨル日本語學習帖

一 蘭曲文音竹 土佐少掾橘正勝直之 本問屋板 無刊記 半二册 六〇、〇〇〇

― 淨瑠璃。土佐少掾段物集。表紙欠。序文・目錄ノ柱部ニ欠損。
奥書柱部欠損。裏表紙破レ。





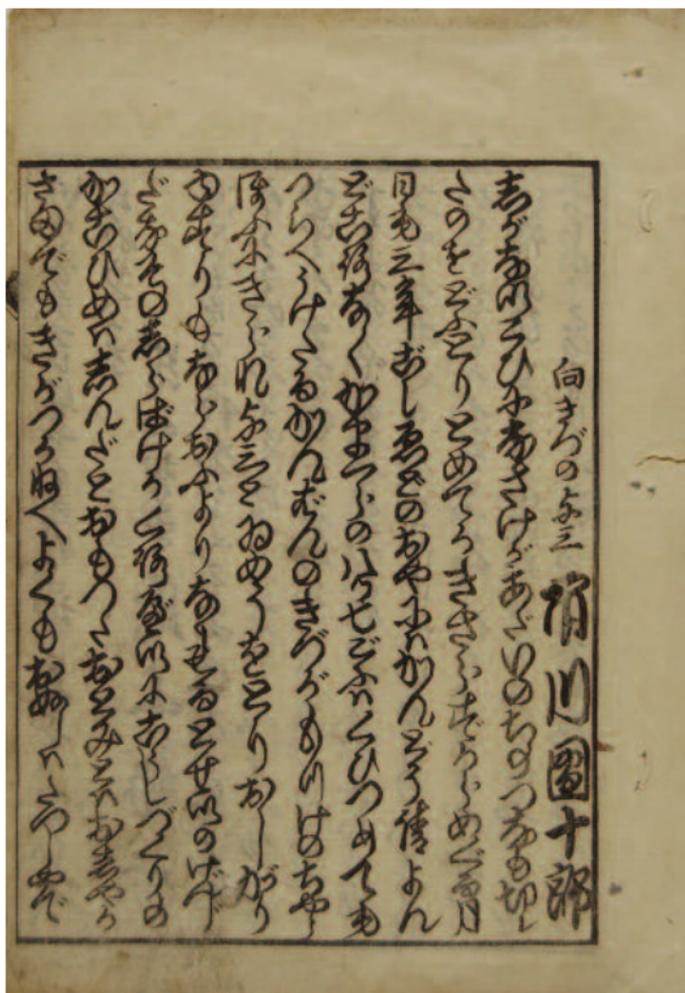
二 歌舞伎せりふ薄物

板元 / 沢村利兵衛 化成頃刊

半二册 三〇、〇〇〇

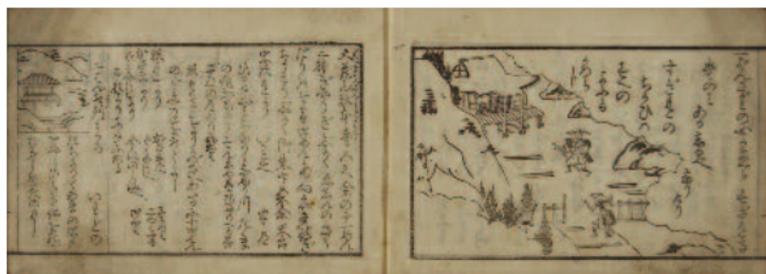
― 「向きづの与三」 市川團十郎・「げいしやおとき」 尾上梅幸

「多右衛門」 關三十郎・「小笹」 中村歌六他



三

縁起板東六十七ヶ所道記
入秩父六十七ヶ所道記
鎌倉坂本／観音院



籤
寶永五年刊 小横一冊 六〇、〇〇〇

四 續千載和歌集 二〇卷元合本

書キ箴

卷末虫

無刊

小二册

一五、〇〇〇

一 享保頃刊

五 玉葉和歌集 二〇卷元合本

書キ箴

少虫

無刊記

小二册

二〇、〇〇〇

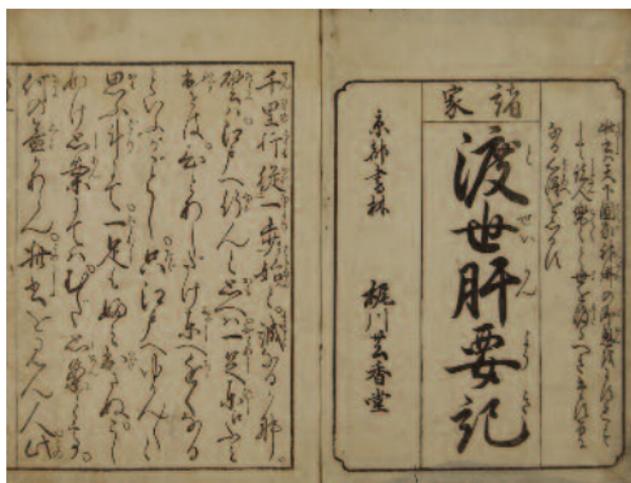
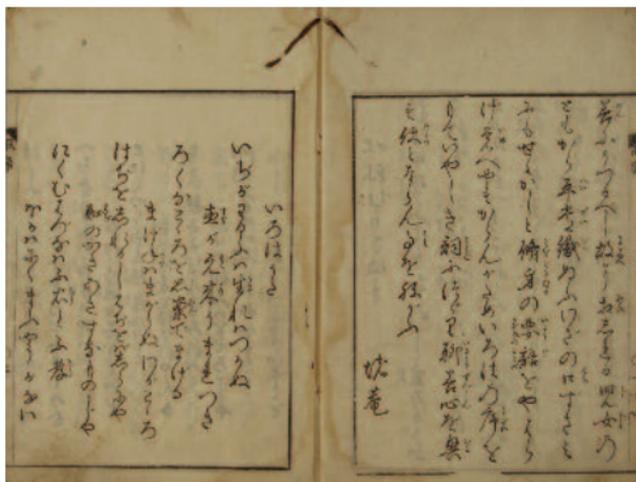
一 享保頃刊

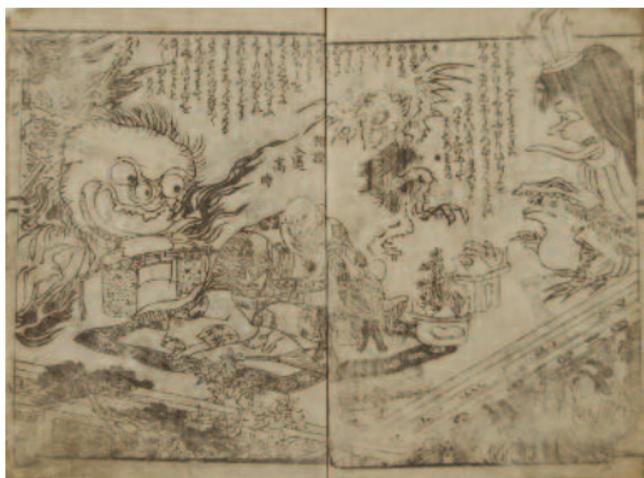


八 當世鳥乃跡 南之卷 簗半剥 染ミ 如閑房述 安永 半一册 一〇、〇〇〇



九 女衞むりさまし
 一〇 諸家渡世肝要記
 簽欠 手島堵庵著 天明八年再刻 半二册 五、〇〇〇
 有喜堂主人序 天明八年刊 半二册 一〇、〇〇〇





二 楠一代記 五卷合『國書』ニヨレバ北尾重政画 無刊 中一册一五、〇〇〇
— 黄表紙。柱題「太平記」。元表裏紙ヲ七枚存スガ原題簽ハ欠逸。
つ傷ミ破レ欠損有リ。卷ノ五ハ僅カニ二丁ヲ存スノミ。

二二

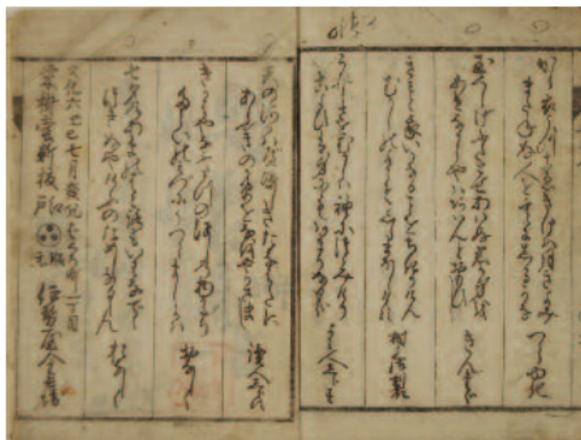
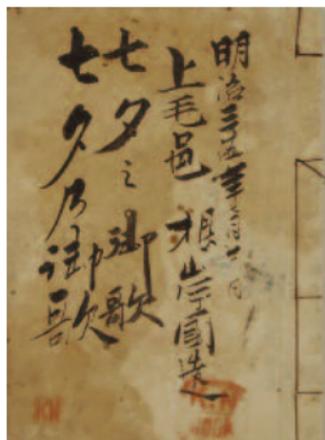
七夕のうた

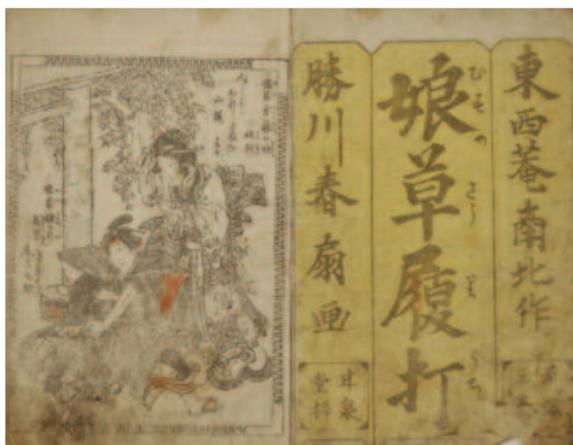
古改装

文化六年七月發兌

小二冊 三〇、〇〇〇

— 城北柳塘 / 桃笑齋天羅著。
ばくろ町一丁目 / 栄樹堂新板 戸元伊勢屋金兵衛。





一三 娘草履打 前篇三卷元合本 東西菴南北作 無刊記
 | 勝川春扇画 甘泉堂 後篇三卷欠 表紙擦レ
 中一册 二〇、〇〇〇

一五 復讐天橋立 前篇 簽少剥落 十返舎一九著 無刊記 半二冊 一五、〇〇〇



一六 貧福悟道捷徑 箴 一筆菴遺稿 頂恩堂販 嘉永二 中一册 一〇、〇〇〇

一善惡道中記四編 玉蘭齋貞秀画 少虫



一七 百人一首 木版彩色摺 五五×四〇耗 明治初期刊 一八五枚 三〇、〇〇〇
― 讀札九七枚・取札八八枚。漆箱入。





一八

古板雛百人一首

三二×二三粒

江戸中期頃刊

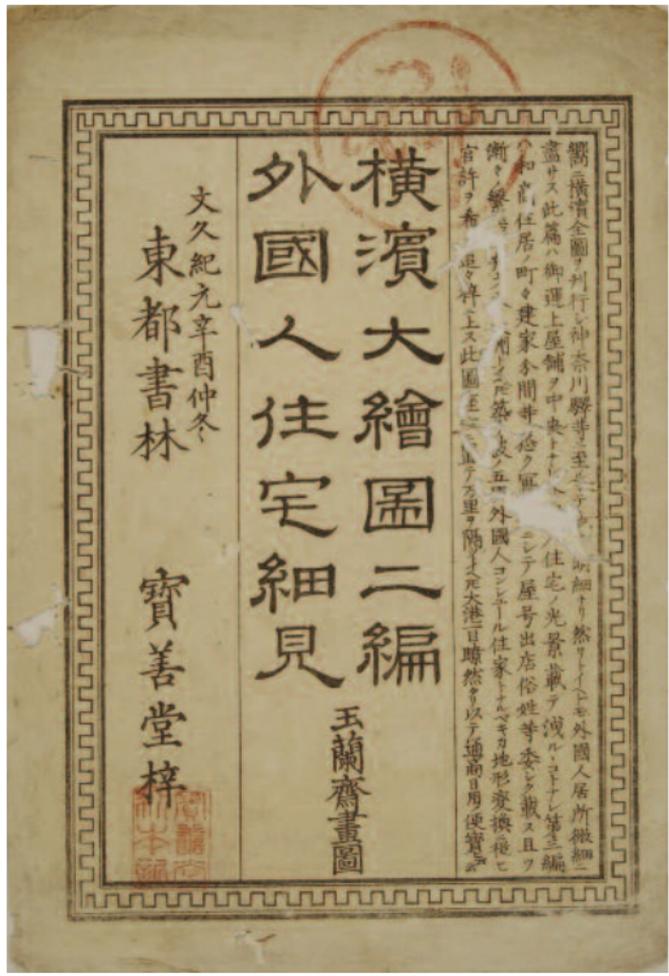
二九枚

六〇、〇〇〇

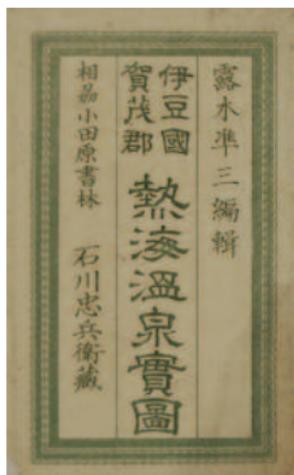
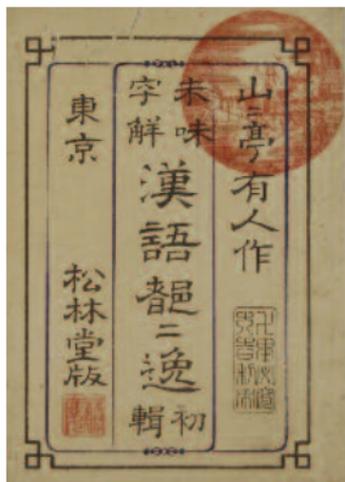
―讀札一枚・取札一八枚。彩色ハ丹緑ノ古着彩ヲ施ス。銀塗り。



一九 横濱大繪圖二編外國人住宅細見ノ袋 文久元年仲冬刊 一枚 三五、〇〇〇
 | 玉蘭齋畫圖。寶善堂梓。少虫。刊本ノ題簽ハ「横濱外國人住宅細見
 二編」。内題ハ「御開港横濱大繪圖二編 外國人住宅圖」。
 五一×一九七 (早大本)



- 二〇 萬國新話ノ袋 初卷 宜新齋藏板 明治元年冬刻 一枚 五〇〇〇
- 二一 未味漢後都々逸ノ袋 初輯 少虫 山々亭有人作 一枚 五〇〇〇
- 二二 西南太平洋記ノ袋 七号 沼尻絰一郎編 萬笈閣 一枚 三〇〇〇
- 二三 伊豆國熱海温泉實圖ノ袋 賀茂郡 銅版 露木準三編 一枚 三〇〇〇



二六

一茶發句集

上下卷

元合本

簽

無刊記

文政頃刊

半二冊

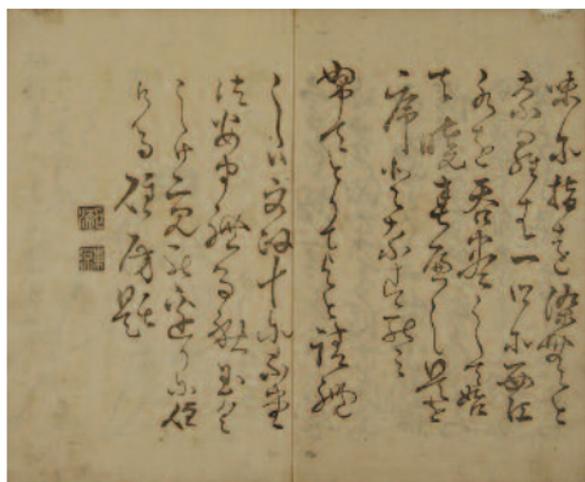
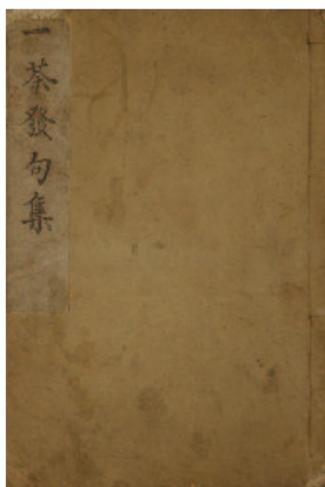
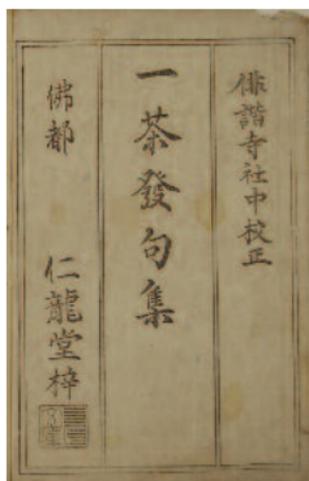
八〇、〇〇〇

一 俳諧寺社中校正

佛都／仁龍堂梓

春甫處信画

上部少削レ





一茶 蕨白集下
 秋之評
 秋まや陽の小河う小杉
 楊子言佛生
 暁の空とちりぬ梅の影多
 葉の赤とてあまのうら
 舞のまはりて梅の影を
 踏まのり影をわたり梅の影

一茶 登白集上
 舟之部
 元白やよき若く浅
 元白もよの舟八幡の
 運船
 運船
 舟の影をわたり梅の影を
 踏まのり影をわたり梅の影

二七

水海帖

辰冬

摺外題

催主／三岳

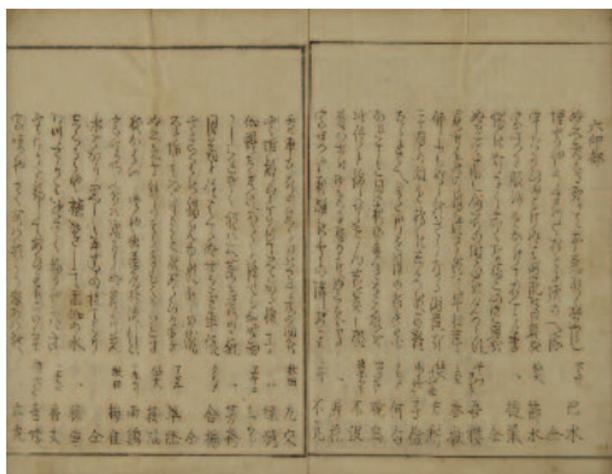
・東海

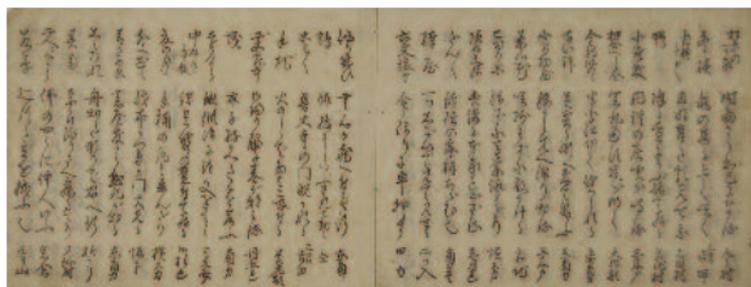
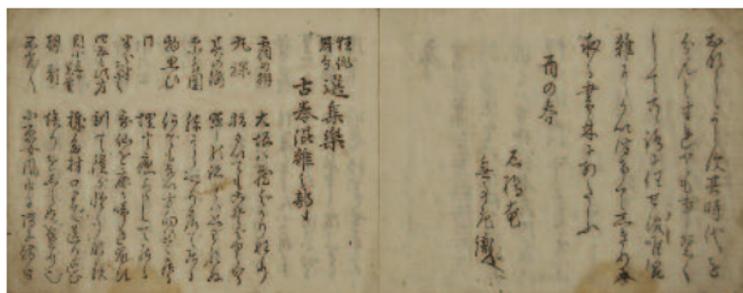
文政三カ

半一册

二〇、〇〇〇

東都／玉蕉菴月次句合集



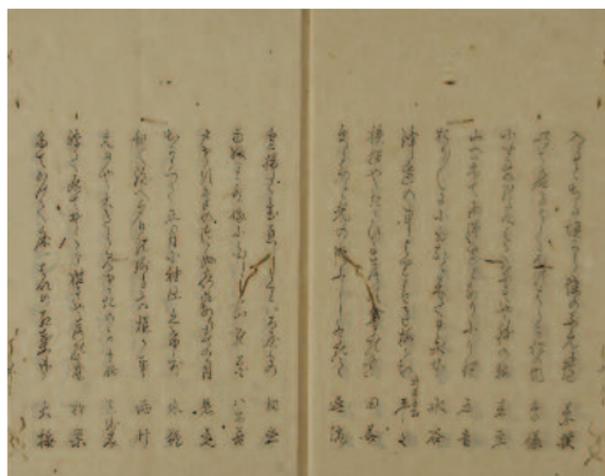
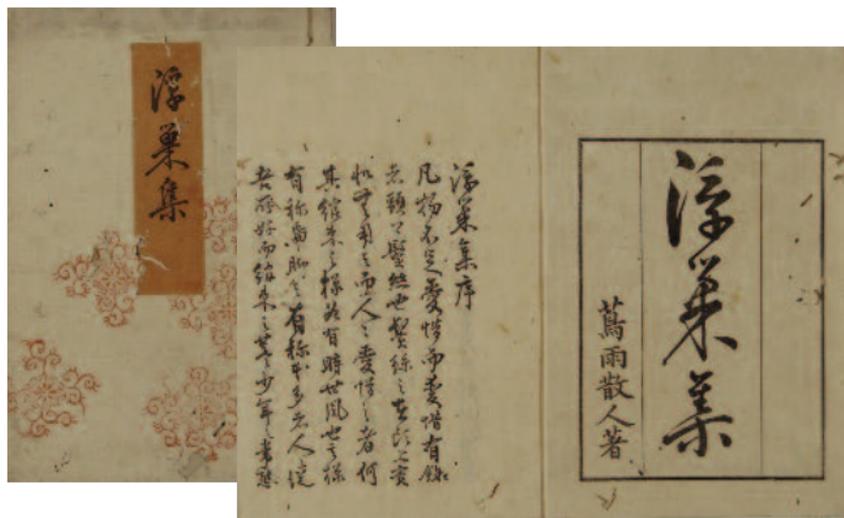


三〇 俳諧故人五百題 上下巻 籤 少虫
三一 南佳多知集 籤 志倉西馬跋



英文板 天保一〇 小二册 八、〇〇〇
杜涼編 嘉永四序 半二册 一〇、〇〇〇



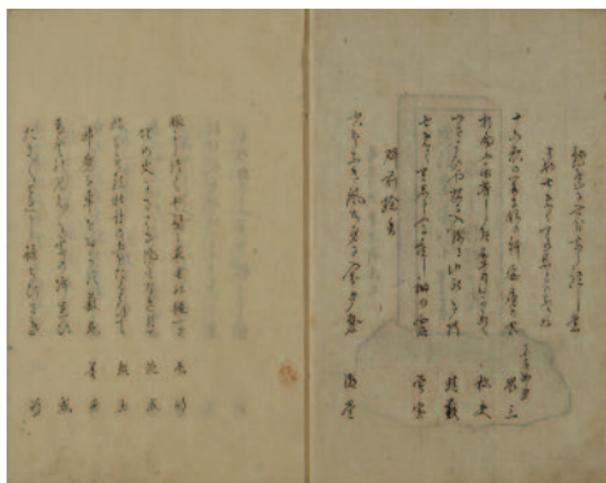
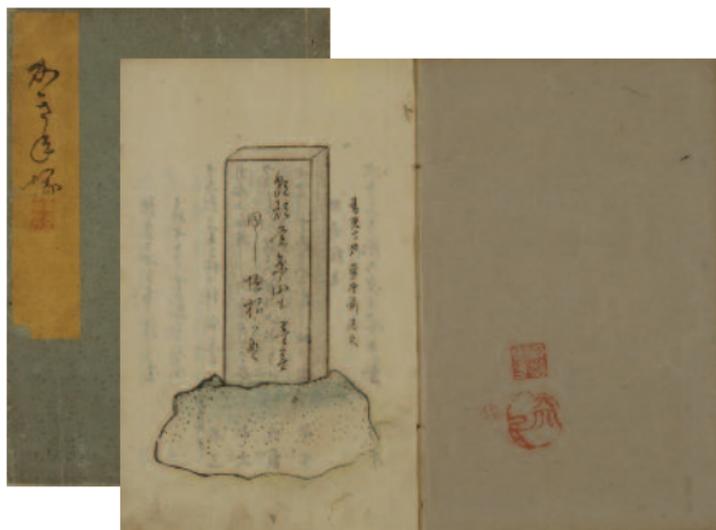


三三
かきね塚

籤
畏三・潮堂・鶯室編

無刊記

半一册 一五、〇〇〇



三五

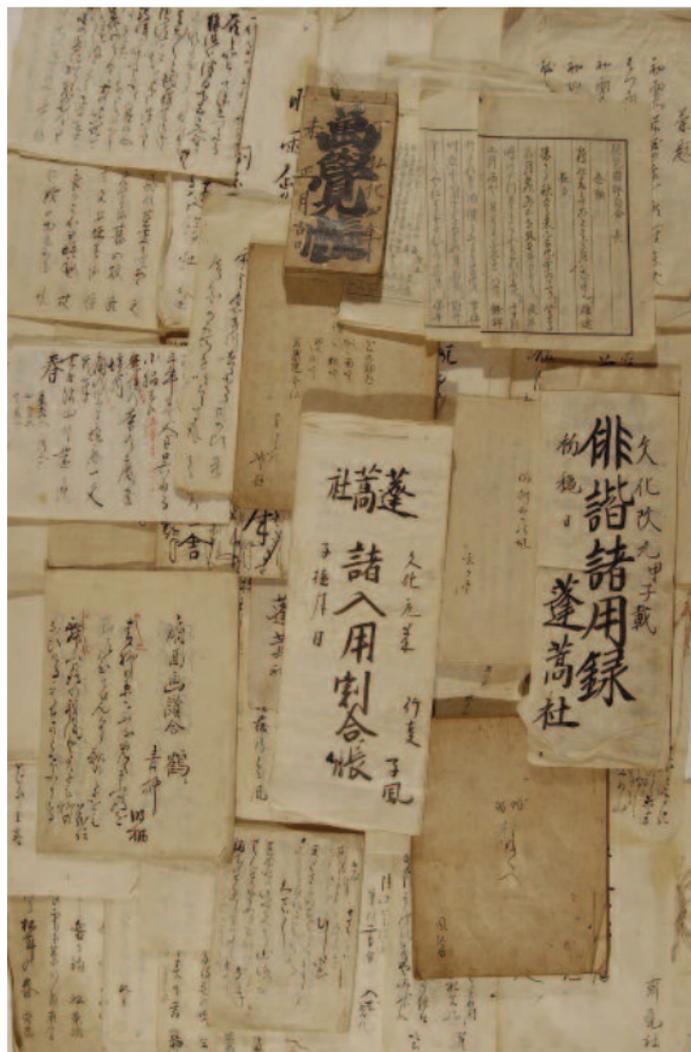
竜金舎明宗狂歌及俳諧資料

一 飛驒高山ノ五側ノ狂歌師竜金舎明宗ノ土川家ニ藏サレテキタ狂歌俳諧ノ初ナ生資料。狂歌資料ヲ主トシ明宗自筆ノ草稿ヤ歌仙詠草ナド多數。

文化ノ天保期

一括 四五〇、〇〇〇

二三ノ二五頁参照







琵琶圖評白合 長

巻頭

長点

五月つる此時をさかりの色しり 伏草
 竹火のやや五月のるれ 度 梅葉
 秋の川や志のうらゆる春の松 二泉
 木のさかり熱れを、虫のいささ 竹有
 糸をさかまきり月や輝きり 日 乙丸
 竹の氷を酒漬しあるもよる月 芳梅
 時原也、原やてらるし六月の夜 對竹
 年一くやねりもさかしく六月 保舟

五月つる此時をさかりの色しり 伏草
 竹火のやや五月のるれ 度 梅葉
 秋の川や志のうらゆる春の松 二泉
 木のさかり熱れを、虫のいささ 竹有
 糸をさかまきり月や輝きり 日 乙丸
 竹の氷を酒漬しあるもよる月 芳梅
 時原也、原やてらるし六月の夜 對竹
 年一くやねりもさかしく六月 保舟

山吹
 川や三つては早稲池にほろろ
 花の影をたづねては
 ちかちか代を戦も
 徳をたづねては
 三崎の世
 早稲池をたづねては
 ちかちか代を戦も
 徳をたづねては
 三崎の世

山吹
 早稲池をたづねては
 ちかちか代を戦も
 徳をたづねては
 三崎の世

山吹
 早稲池をたづねては
 ちかちか代を戦も
 徳をたづねては
 三崎の世

山吹
 早稲池をたづねては
 ちかちか代を戦も
 徳をたづねては
 三崎の世



山吹
 玉門の面々竹葉を
 のりけのちりけ
 ちかちか代を戦も
 徳をたづねては
 三崎の世

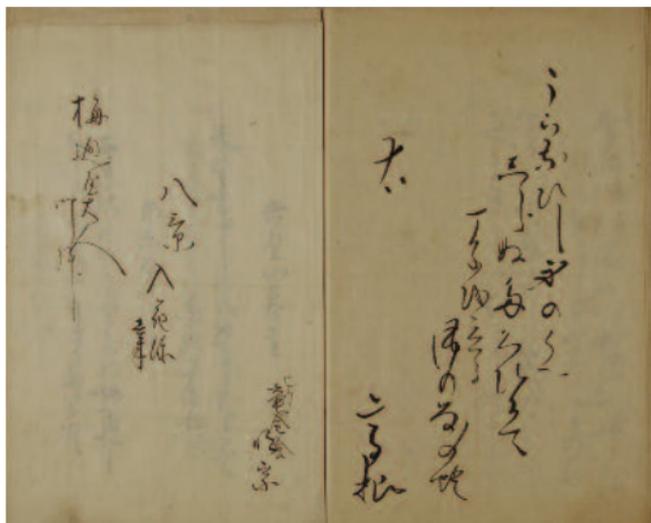
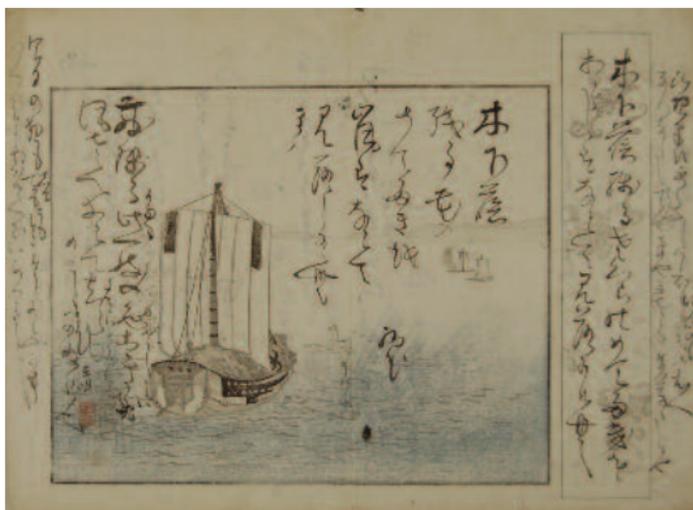


入...
 中...
 梅中標

梅中標
 龍谷館
 連中

久保十二世定平月九日
 田中庵
 會主

龍谷館
 梅中標
 龍谷館
 龍谷館



考
 本のなかに、重のみのこと、
 彦平のまゝの虫のかけの
 まう了をうごき、その心
 まうし、この解き、
 花より、中より、
 乙のゆき、
 世ら

彦平のまゝの虫のかけの
 まう了をうごき、その心
 まうし、この解き、
 花より、中より、
 乙のゆき、

彦平のまゝの虫のかけの
 まう了をうごき、その心
 まうし、この解き、
 花より、中より、
 乙のゆき、

狂亭
 英於通志良造
 梅園先生
 彦平のまゝの虫のかけの
 まう了をうごき、その心
 まうし、この解き、
 花より、中より、
 乙のゆき、

甲のまゝ
 奇仙稿
 彦平のまゝの虫のかけの
 まう了をうごき、その心
 まうし、この解き、
 花より、中より、
 乙のゆき、

三六 效顰雜詠 箋

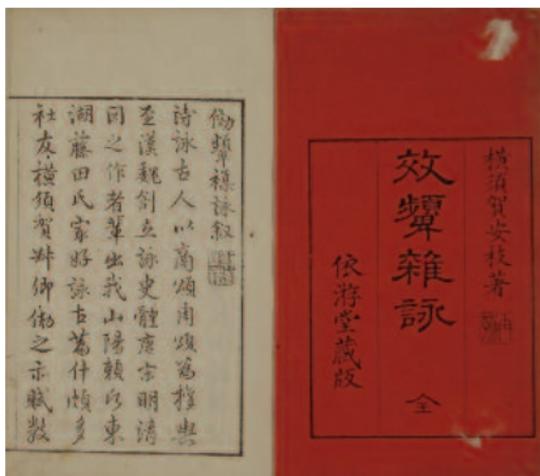
橫須賀安枝著

依游堂藏版

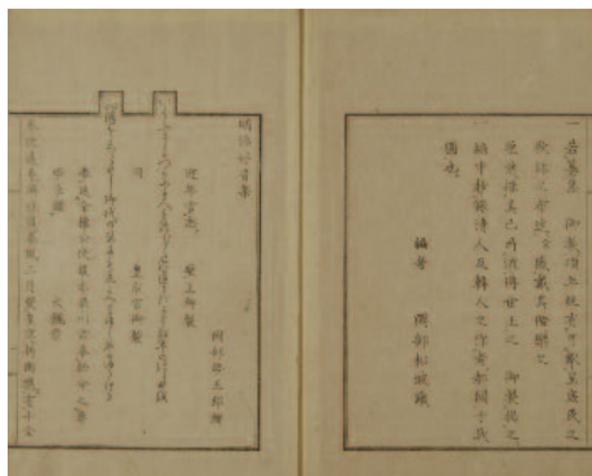
明10

半二冊

一五、〇〇〇



三七 明治好音集 簽欠 岡部啓五郎輯 佐田白茅跋 明8 半一冊 一〇、〇〇〇



三八

おどけ艸紙

初輯

中根淑著

金港堂

明24

菊判

一五、〇〇〇

一 骨皮道人・遙尼散人・貳名屋滿壽夫・眉散人・不粹庵主人・柳葉子
横面はる風・頓々子他。小林清親・慶需永濯・翠華他画。





三九

浮世
写真
人情世界

中丸貞藏編

日本館

明30

菊判一〇册

二五、〇〇〇

第九・一〇・一一・一五・一七・一九號(明30)・三年一
三年一二・三年廿二・三年廿三號(明31)三年廿三號末尾破レ欠損。

四〇 少年寶庫
四一 英和對譯日本昔噺

首尾書キ入レ
佐藤治郎吉編
東京堂
上田貞次郎譯

明 明
31 24

四六判 一〇、〇〇〇
四六判 五、〇〇〇



四二
四三

繪本群畫 簽欠墨 江隣舍易米誌
細谷風翁追 薦覽會 簽附追募錄
冥壽書畫會 荒井太四郎休保・鈴木曉齋忠季記錄

天保一〇序 明7
明治17年10月5日

半一册 五、〇〇〇
中一册 一五、〇〇〇



四四 生巧館木版彫刻部小口木版作品群

―合田清が明治二〇年ニ芝區櫻田本郷町ニ開業シタ生巧館木版彫刻部ノ小口木版ノ校正摺リト清摺リノ極メテ大量ノ作品資料群デアル。

殆ドガ清摺リデアルタメ極メテ鮮明精密、コレラガ木版印刷デアルコトヲ疑ツテシマウ程デアル。

全テ良質ノ薄様和紙ニ摺ラレテオリ枚數ハ大凡五千枚ヲ數エルガ、大作ハ一枚ニ一作若シクハ二、三作、小品ハ五、六作カラ多クハ一〇作以上ニ及ビ作品ノ總點數トシテハ數萬點ニ及ブ。

生巧館ハ五姓田芳流門下ノ山本芳翠ト巴里デ偶然同宿ダッタ合田清ガ明治二〇年ニ歸國シテ共同デ新築設立シタ画塾ト小口木版ノ製作所デアル。二階ガ芳翠ガ指導スル生巧館画學校ト稱シ、一階ガ合田ガ指導スル生巧館木版彫刻



大量一括五、〇〇〇、〇〇〇

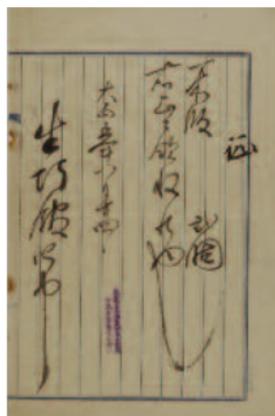
部ト稱シタ。

合田ハ巴里デハ最初農學研究ヲ志シテイタラシイガ山本芳翠ノ勸メデ小口木版ヲ學ビ佛蘭西木版ノ大家ノ元デ五年間學ンデソノ後職工トシテ雇ワレ最先端ノ小口木版ノ技ヲ習得シタラシイ。巴里デ法律學ヲ學ンデイタ黒田清輝ガ合田ト同ジク芳翠ノ強イ勸メデ画家ニ轉ジ、歸國後ハ芳翠カラ生巧館學校ヲ譲リ受ケテ指導シ藤島武二ヤ湯淺一郎、北蓮藏、白滝幾之助ナド明治ノ西洋画壇ヲ担ウ重要人物ヲ輩出シタ。

日本古來ヨリノ木目木版ハ繪師・彫り師・摺り師ノ役割分担デ作品ヲ完成サセルノニ對シ、木ヲ輪切りニシテ板木ヲ彫ル小口木版ハ繪師ガ自ラ板木ヲ彫リ自ラガ摺ツテ作品ヲ完成サセルコトガ基本デ「刀画」トモ呼バレル。稀ニ作品ノ隅ニ「生巧館刀」ナドト「刀」ノ文字ガ刻サレテイル。

一八世紀末ニ英吉利デ發明サレタ小口木版ハ硬質ナ木口板ヲ板木トシテ使用スルノデ精密デ繊細ナ表現ガデキルタメ寫真木版トモ呼バレ、シカモ平庄プレス機デ活字ト同時ニ印刷デキルコトカラ書籍ノ插繪トシテ發展シタ。未ダ寫真製版ノ印刷技術ガ乏シカッタ明治二〇年代ノ新聞雜誌ヤ教科書、繪葉書ナドニ活用サレソノ役割ハ絶大ダッタ。當時最高ノ技術ヲ誇ツテイタ生巧館木版部ハ博文館ナドノ大手ノ出版社カラ注文ガ相次ギ、資料ノ中ニハ「生巧館」「合田」宛ノ金港堂書籍・至誠堂書店・

金刺芳流堂・育英書院ナドカラノ「木版」ト記サレタ受領書ガアル。



大量デハナイモノノ校正摺リガ存在シ、合田ノ直筆デアロウカ、比較的簡單ナ画デモ「悪刻」「止め」「ボカセ」「トレ」ナドノ厳シイ指示ガサレテオリ作品ニ對スル姿勢ト一切ノ妥協ヲ許サナカッタ木版彫刻部ノ精神ガ垣間見エル。

コノ數萬點ニ及ブ作品群ハ画風ヤ筆致ガ様々デ恐ラクハ二階ノ画學生モ手傳ッテイタトモ考エラレ、未ダ無名ダッタ藤島武ニヤ湯淺一郎ナドモ原画ヲ描イテ腕ヲ磨イテイタノデハナイダロウカ。

當時最高水準ノ画塾ヲ經營シ、日本ノ小口木版ノ先驅ニシテ最高ノ技術ヲ誇ッテイタ生巧館木版彫刻部ノ仕事ヲ網羅デキル様ナコレ程大量ノ根本資料ガ、コレマデ發見サレズ状態モ良好ニ保存サレテイタコトハ奇跡ト云エルノデハナイダロウカ。オソラク明治時代ニ於ケル最高ノ挿繪資料ガココニ存在スルト云ッテモ過言デハナイダロウ。一〇一頁参照



